

保護者からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名 ふじかわキッズ

保護者数(児童数) 10名 回収数 10名 割合100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1			・広々していると思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1			・発達の課題についてアドバイスをくださるので助かります。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		6	・細かいところまではわからない。	・畳のい草の解れが目立ち、活動時に刺さってしまうことがあったので、3月に畳の張り替えを行った。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	9	1			・課題をよく分析されていると思います。	
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	9	1			・イベント等も色々あると思います。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	5	・コロナ禍でそういった活動ができないのは仕方ないと思います。(2名) ・イベント時に行っている様です。	・他の事業所(同じ法人の就労施設や別の放課後等デイサービス)とイベント時に交流を行った。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10				・契約時にされた。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				・送迎時によく課題を教えてください。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10				・アドバイスをくれる。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	1	4	・コロナ禍でそういった活動ができないのは仕方ないと思います。(2名) ・保護者会はないと思います。	保護者会等必要という意見があれば立ち上げを検討していく。必要でない場合は現在のまま保護者会等は作らない。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2		1	・今のところ苦情はありません。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10				・丁寧にしてくれています。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	1	3		
	14 個人情報に十分注意しているか	10					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8		1	1	・周知説明されています。	保護者への周知ができていない部分もあるので、検討をし周知徹底できるようにしていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9			1		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	5	5			・大変満足しています。 ・帰宅後怖かったと言うことが時々あった。 ・イベントや本人の気分によってまちまちです。	・支援、学習指導の際に声掛けや注意の仕方に気を付けて、職員同士でも声掛けを行い、楽しく有意義に来れる場所づくりを行っていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	10				・大変満足しています。 ・学習(宿題)などよく見てくれていて助かります。	

- ※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- ※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

(様式7)

事業所における自己評価結果(公表)

公表年月日: 令和5年3月31日

事業所名 ふじかわキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・広く活動しやすい。	3月に畳の張り替えを行った。
	2	職員の配置数は適切である	4	1		職員が1人休んだ時、大変であると思う。もう少し多いと良いと思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	トイレはバリアフリーになっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	時間設定が難しいこともあるため、個別に伝えて情報共有している。	・今後も勤務時間内で情報共有できるように密に連絡を取り合う。 ・時間があるともう少し参画できると思う。 ・事業所内で話し合いが必要。 →来年度から午後に時間を設けて、職員間の連絡など密にとっていけるように改善させる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		・ホームページを気にして見る。 →初出勤の際に紹介等してあったが、普段から意識してもらえるように周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		・理事長を通して外部の方に、評価して頂けるようにしていく。 ・外部評価を業務につなげるように努力する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		・もう少し研修のための時間があると脂質向上につながると思う。 →来年度から午後の時間に時間を設けて、職員間の連絡など密にとっていけるようにする。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		・保護者のニーズを常に聞く。 →保護者のニーズは聞くことはとても大切ではあるが、すべて聞き入れてしまうことは、利用者や事業所にとって良くない場合もあるので、双方でしっかり話し合いを行い、お互いに納得できる形で行っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		・入所当初に聞き取るアセスメントシートがあり、実態把握できるように保護者さんへの聞き取り等記入しているが、当事業所に適切でない部分もあるため今後改善が必要。 →当事業所にあったアセスメントシートに改善して利用していけるようにする。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		・みんなで行っているが、もう少し話し合う時間があるともっと良いと思う。 ・活動プログラムの立案をチームで作る。 →来年度から午後の時間に時間を設けて、職員間の連絡など密にとっていけるようにする。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	4	学習と木工の特化のため固定させて活動している。	・特化型で行っているため改善は行う予定がないが、長期休みなど楽しめる活動も行っていく。 ・活動プログラムが固定化しないように常に気をつける。→特化型で行っていることを周知できていない職員には、当事業所の方針などもう一度徹底していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		・支援内容を話し合い、それに沿って支援する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		・情報を共有して支援計画やサービス計画を作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		・役割分担をはっきりさせる。 →役割をすべて決めてしまうと円滑に運営ができないので、職員間でお互いに声掛けをしながら臨機応変に柔軟に体制がとれるように一人一人が心がけるように確認していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	職員の勤務時間の関係で、次の日に情報伝達等は行っている。	・利用者の送迎後残りの仕事を行いながら振り返りを行っている。 ・左記を今後も継続していく。 ・午後職員が全員出勤したところで必要事項の確認ができるように改善していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		・記録をとること。 →日報に必要な事項はしっかり記録をとり、問題発生時には別紙記録をして、個人ファイルで保管するようにして、職員間で共有して改善していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	1		・ガイドラインは見たことがないので、ガイドラインについて学ぶ。 →玄関正面の掲示板のところに当事業所のガイドラインのファイルは掲示しており、初出勤時には確認をしてもらっている。働くうえでも総則や方針を知ってもらうためにもう一度全職員に確認を徹底していく。
関係機関や保護者との	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議が行われている情報が現在あまりないため、関係機関に確認をしていく。参加可能なものには参加していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		・医療機関と常に連絡を取れる体制を作る。 →医療的ケアを行う利用者が居ない。また当事業所は重度障害児の対象施設ではない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		・保育所や事業所に出向いて情報を共有する。 →情報共有が必要な場合は、計画相談事業所や保護者さんから聞き取りを行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	対象者が居なかった。	・来年度利用者の状況で情報提供が必要な場合には行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		・受ける機会を作る。

連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	キッズ祭で、他の事業所と関わる機会があった。	・コロナ禍で実施することができなかった。今後も情勢を見ながら検討していく。(4名) ・機会を設ける努力をする。(1名)
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	町で開催された協議会に出席をした。	・開催等の情報が少なくないので、参加できるよう情報収集できるようにしていく。 ・積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		・保護者の相談には対応して相談にのっているが、ペアレントトレーニングなどは時間的制約がありできない。(2名) ・ペアレントトレーニングを積極的にする。(1名)
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		父母会を立ち上げていない。また、保護者に集まってもらう時間がない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	キッズ祭やハロウィン等イベントの開催	コロナ禍で大々的に実施することができなかったが、キッズ祭やハロウィン仮装の際に近隣の公民館で地域の方と交流することができた。今後も情勢を見ながら検討していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		・新年度から「ふじかわキッズ安心・安全のための対応マニュアルご家庭・事業所相互掲示板」を作成配布する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	アレルギーの利用者には医師の診断書の提出を促している。	・食事やおやつなどの際に細心の注意をしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		・作成し、来年度より本格的に使用できるように変更改善を行っている。